

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年3月31日

事業所名 心花すげ

保護者等数5人 回収数 3人 割合 60%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2			1		職員は児発管を含み毎日5~6人の有資格者を配置しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1				建物が平成初期に建築されたため、バリアフリーには対応していません。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2					
適切な 支援の	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	2			1		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2				1	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2			1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
提供	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	2				毎回違った内容のプログラムが組まれていて子どもも今日は何かと楽しみにしています。	活動プログラムについては、内容を一部変えることにより、毎日の変化の中で飽きないように工夫をしています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2			1	地域にある広い緑地に連れて行ってくれたり、コンサートを開いてくれました。	通所する子どもが幼稚園や保育園に通っており、通園後の療育を行うことから交流を伴うプログラムは実施していません。 ただし、緑地や公園、巡回コンサートなどは随時実施していきます。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	2			1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか			2	1		家族支援プログラムについては、今後検討していきます。 (現状共働き世帯が多く、土曜日曜に設定したらいいのか検討中です)
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2					面談については、個別支援計画作成のため以外に面談を設けることが少なからずできておらず申し訳ございません。 今後、留意いたします。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2			1		面談については、個別支援計画作成のため以外に面談を設けることが少なからずできておらず申し訳ございません。 今後、留意いたします。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			2	1		保護者会につきましては、今後検討をさせていただきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2			1		苦情については、新規利用の際に担当理事が対応する旨の説明をしています。 苦情に至らない要望等があったときに事業所内で検討し、迅速かつ適切に対応できるようにしています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	1				現在通所をしている子どもには、継続して通えるよう、引き続き努力いたします。 また、当事業所が「小集団療育」を掲げていることから、少なからず「個別療育」を必要としている子どもに対し、近隣の個別を行う事業所を紹介し、事業所間の連携を図りながら子どもが楽しく通えるようにしていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	1				
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	2	1				
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1	1		1		緊急時等の対応については、マニュアルを策定し、職員に周知説明を行っていますが、保護者への説明が十分ではなかったため、今後周知・説明いたします。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		2		1		避難訓練は総合訓練を定期的に行っています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	3					現在通所をしている子どもには、継続して通えるよう、引き続き努力いたします。 また、当事業所が「小集団療育」を掲げていることから、少なからず「個別療育」を必要としている子どもに対し、近隣の個別を行う事業所を紹介し、事業所間の連携を図りながら子どもが楽しく通えるようにしていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	23	事業所の支援に満足しているか	3					当事業所では、教員資格の児童指導員の他に、保育士や公認心理師、臨床心理師等の専門職員が配置され、毎日支援する職員が4人(+管理者・運転手等)以上で子どもの支援を行っていることが高く評価されていると捉え、一層の支援の向上に取り組んでいきます。

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。